

# JRECO 通信

## No.32

JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機

引き続き、一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO) として、会員の皆様にご覧いただきたいこと等を『JRECO 通信』としてお届けします。

### I. 温室効果ガスの2022年度国内排出量は「過去最少」

環境省は4月12日に2022年度の国内の温室効果ガス (GHG) 排出量を公表した。

それによると排出量は約11億3500万トン (CO<sub>2</sub>換算) で「過去最少」を記録した。

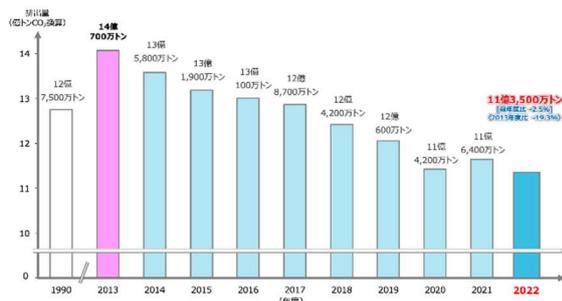


図2 我が国の温室効果ガス排出量

出典：環境省

#### 【1.オントラック】

「2030年度目標及び2050 ネットゼロに対する進捗」は

- 2022年度の我が国の温室効果ガス排出・吸収量は約10億8500万トン (CO<sub>2</sub>換算) となり、2021年度比2.3%減少 (▲約2510万トン)、2013年度比22.9%減少 (▲約3億2210万トン)。
- 過去最低値を記録し、オントラック (2050年ネットゼロに向けた順調な減少傾向) を継続。

との見解を示した。

2021年度からの排出量減少の主な要因は産業部門、業務その他部門、家庭部門における節電や省エネ努力等の効果が大きく、全体ではエネルギー消費量が減少したことが考えられると指摘した。

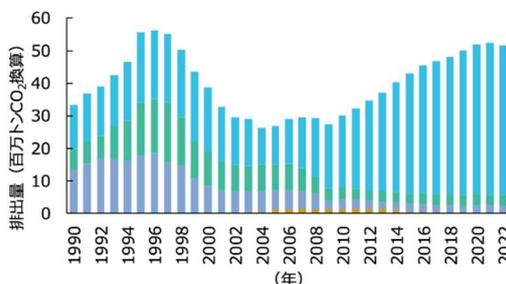


出典：環境省

#### 【2.代替フロン等4ガス】

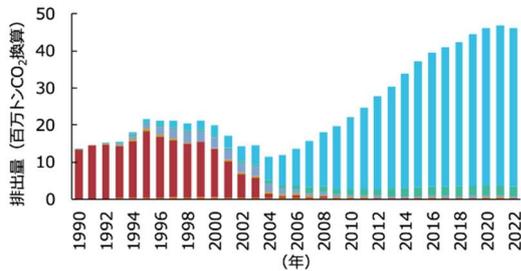
代替フロン等4ガス (HFCs・PFCs・SF<sub>6</sub>・NF<sub>3</sub>) の排出量は約5170万トンで、2009年以降初めて減少した。

##### 1) 排出量の推移 出典：環境省



	2022年 (百万トン CO <sub>2</sub> 換算)	シェア	変化率	
			2013年比	前年比
HFCs	46.1	89.3%	+52.1%	-1.6%
PFCs	3.0	5.9%	+2.1%	+4.9%
SF <sub>6</sub>	2.1	4.1%	-8.9%	-4.6%
NF <sub>3</sub>	0.3	0.7%	-77.6%	+1.4%
計	51.7	100%	+39.0%	-1.4%

● **うち、ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）排出量の内訳**



	2022年 (百万トン CO <sub>2</sub> 換算)	シェア	変化率	
			2013年比	前年比
冷媒	42.8	92.8%	+55.6%	-1.1%
発泡	2.6	5.6%	+32.4%	+0.2%
エアゾール・MDI	0.4	0.9%	-10.1%	-25.1%
HFCsの製造時の漏出	0.1	0.1%	-47.3%	-42.7%
HCFC22製造時の副生HFC23	0.0	0.0%	-72.7%	-96.6%
その他	0.2	0.5%	-3.8%	-5.2%
計	46.1	100%	+52.1%	-1.6%

※排出量"0.0"は5万トン未満、シェア"0.0"は0.05%未満

環境省はHFCsについてはフロン排出抑制法への改正によって使用時漏えい対策が導入されたこと等を踏

まえて、排出係数（使用時漏えい率）を見直し、2016年度以降に適用したとしているが、一部の有識者からはオゾン層保護法に基づく生産量・消費量の規制、フロン排出抑制法に基づき、GWP（地球温暖化係数）が小さい冷媒への転換が進んだことが主な要因ではないかという見解も発信されている。

**【3. 世界初の報告】**

今回の国連への報告では、世界で初めて、ブルーカーボン生態系の一つである海藻藻場及び海藻藻場における吸収量を合わせて算定し、合計約35万トンの値を報告した。

また、3類型（4種類）の環境配慮型コンクリートによる吸収量（CO<sub>2</sub>固定量）を同じく世界で初めて算定し、合計約17トンの値を報告した。

最後に、今後はJクレジット化に向けた検討を進めるとし、報道発表を締めくくった。

**II. 江戸・東京の歴史を訪ね歩きませんか（目白から湯島天神 文京区）**



さて、今回はJR目白駅から湯島天神までの道案内をさせていただきます。それでは、今日の散歩はJR山の手線目白駅からスタートしましょう。

**<学習院>**

学習院は以前にも記しましたが、もともとは、弘化4年（1847）に孝明天皇が皇族・公家の子弟の教育の場として京都御所の東側に皇族・公家の学問所として設置されました。明治10年（1877）に明治天皇の勅諭により、かつて京都にあった学習院の名が継承された華族学校として現：千代田区神田錦町に開校されました。そして、明治17年（1884）に宮内省所轄の官立学校となり、戦後の昭和20年（1945）に華族の教育目的を削除し

て私立学校として現在に至ります。学校は明治時代に四谷区尾張町などに移転し、明治41年（1908）に現在の地である北豊島郡高田村に移転しました。

明治40年（1907）に学習院の第10代院長に乃木希典が就任しました。その就任の経緯は明治天皇の御下命によるものですが、すこし詳しく話します。

明治39年（1906）1月、乃木は日露戦争の凱旋で参内し明治天皇に拝謁しました。このとき旅順攻撃で多数の兵を死なせたことを報告しつつ、乃木は感極まって涙を流し、「仰（あお）ぎ願わくば、臣（私）に死を賜え。割腹して罪を謝り奉（たてまつ）りたい」と述べ、そのまま平伏してしまっただけです。対して明治天皇は、「今は死ぬべき時にあらず。もし死を願うなら、朕が世を去りてからにせよ」とさとされたと言われる。さらに明治天皇からは旅順203高地で二人の息子（勝典、保典）を亡くしている、これからは学習院の院長として多くの子供たちの父となるようにと言われ、皇族・華族の教育を委ねられたとのこと。明治天皇からの深い信頼を背景に院長となった乃木は迪宮（みちのみや）裕仁親王（後の昭和天皇）をはじめ皇族・華族の教育に尽力し、乃木の教育方針は、人格形成を重視したもので、在任中はさまざまな場面で学生に訓示をしたそうで、その教育は「乃木式」ともいわれ、学習院の教育方針とされました。当時は全寮制であり、乃木も寄宿舎で学生と寝食を共にして指導にあたっていたそうです。

前置きが長くなりましたが、学習院キャンパスには国登録有形文化財が多数あり、乃木希典にまつわる文化財や高田馬場の決闘で堀部安兵衛が血刀を洗ったとの言い伝えの「血洗いの池」などがあります。キャンパス見学に付きましては事前に下記 URL をご参考ください。

<https://gakushuin-admissions.jp/experience/tour/#>



15

東別館

国登録有形文化財

全寮制だった学習院の皇族寮として、大正2（1913）年に建築。馬車で登校した皇族に配慮して玄関の庇が高く設けられ、庇の正面や柱には学習院の校章、桜の花がデザインされています。



24

乃木館

国登録有形文化財

第10代乃木希典院長は、明治41（1908）年の学生寮開寮に伴い、総寮部内の一室で学生と寝食を共にしました。同院長の逝去後、その居室だった総寮部を「乃木館」として保存。昭和19（1944）年ごろ現在の場所に移築しました。



26

血洗いの池

湧き水でできた池で、昔は水門がありました。元禄年間、講談などで知られる「高田馬場の決闘」で、叔父の助太刀に立った堀部安兵衛が血刀を洗ったとの言い伝えがあります。

学習院キャンパスの見学を終えて正門より目白通りを進みましょう。目白通りの向かい側に目白警察があります。ここは、昭和23年（1948）に起きた帝銀事件（未解決）の捜査本部が置かれた場所です。さて、しばらく進むと千歳橋が見えてきます。目白通りの下に明治通りと都電が交差しています。目白通りは神田川が削った河岸段丘の上にありますので、千歳橋からは新宿方面が見晴らせます。さらに少し進むと、高田一丁目の信号がみえてきます。この辺りは江戸時代には下高田村でしたので、今でもその高田が地名として残っています。



千歳橋から新宿  
方面の眺め  
(左：1979年、  
右：2020年)

高田一丁目の信号から左に曲がり5分位歩くと鬼子母神（正しくは、鬼子母神堂の「鬼」の字は、1画目の点（ツノ）のない文字を用います）に到着します。



雑司ヶ谷鬼子母神堂に祀られている鬼子母神尊像は永禄4年（1561）に現・清土鬼子母神堂で掘り出され、はじめは法明寺の塔頭東陽坊（後に大行院）に納められていましたが、天正6年（1578）に雑司ヶ谷村の人びとによりお堂が建てられると、こちらに安置されました。現在の雑司ヶ谷鬼子母神堂は寛文4年（1664）に第二代広島藩主浅野光晟の正室・自昌院の寄進によって本殿が建立され、元禄13年（1700）に相の間と拝殿が増築されたものです。以前、堀部安兵衛決闘の巻でも記しましたが、「堀部安兵衛が仇討ちの後、雑司ヶ谷鬼子母神詣りの堀部弥兵衛の妻と娘に出会って見初められ婿養子になった」とあるように、江戸の名所のひとつとして、武士から庶民まで信仰を集めて大いに興隆しました。

さて、鬼子母神でお参りを終えて元來目白通りに戻りましょう。高田一丁目から5分位歩くと、「不忍通り」が目白通りから左に別れる場所に到着します。ここはあの「不忍通り」の起点となっている場所です。

<大名屋敷跡>



目白通り南側にはかつて大名屋敷が連なり、田中角栄邸は武蔵岩槻藩（埼玉）大岡兵庫頭の屋敷（下屋敷？）でした。大名屋敷の広い跡地は現在目白台運動所、和敬塾、椿山荘、肥後細川庭園（文京区公園）となっています。

す。ちなみに、目白通りの北側は御家人たちの大縄地（長屋）となっていました。地図で確認すると、栄華をほこった田中角栄の目白御殿の土地半分以上が道向かいの日本女子大学図書館と附属幼稚園へと売却されたようです。



かつての目白御殿（田中角栄邸）



現在の田中邸（令和6年1月9日全焼）

田中邸を過ぎると目白台運動場、さらに歩き進むと和敬塾、椿山荘に到着します。以前は椿山荘の庭園は一般に開放されてましたが、残念ながら、現在では宿泊客と施設利用客に限られているそうです。せっかくなので、少しこの地の説明をします。

### <椿山荘>

この場所は、南北朝時代には椿が自生する景勝の地で「つばきやま」と呼ばれていました。江戸時代は、この地は上総久留里藩黒田豊前守の下屋敷でした。その後、山縣有朋が、明治11（1878）年に「つばきやま」を購入し庭、邸宅をつくり、「椿山荘」と命名しました。大正7（1918）年、藤田組の二代目当主「藤田平太郎男爵」が、山縣有朋の意志を受け継ぎました。昭和20（1945）年の空襲で、記念館や大邸宅、樹木の大半が殆ど灰燼に帰してしまいます。昭和23（1948）年、椿山荘は藤田鉦業（旧藤田組）から藤田興業の所有となります。藤田興業の創業者となった小川栄一は名園椿山荘の復興に着手し現在に至ります。



神田川が大洗堰で神田上水と江戸川に分流

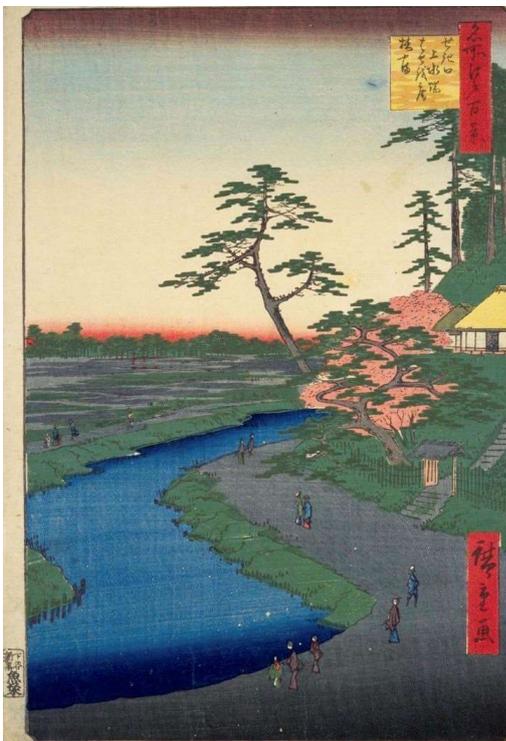
椿山荘の庭園は河岸段丘の斜面につくられています、庭園が神田川に面するあたりには現在は文京区立江戸川公園になっています。

### <神田上水取水口大洗堰跡>

日本最古の上水といわれる「神田上水」は家康の命を受けた大久保藤五郎忠行(主水：もと)が開きました。井の頭池を水源として、目白台下の現在の大滝橋あたりに堰を設け、川の水位を上げて上水として流し、余った水は、神田川(江戸川)へ流しました。

### <大洗堰と芭蕉庵>

江戸時代はこの江戸川公園には大洗堰(おおあらいのせき)があり、神田川を神田上水と江戸川に分岐していました。延宝3年(1675)初頭に江戸へ下った芭蕉が最初に住んだのは日本橋でしたが、その後、芭蕉は延宝5年(1677)、水戸藩邸の防火用水に神田川を分水する工事に携わった事が知られています。芭蕉は労働や技術者などではなく人足の帳簿づけのような仕事でした。芭蕉はこの地に3年間暮らし、この地にあった水番屋「龍隠庵」に住んだとされています。後に芭蕉を慕う人々によって「芭蕉庵」と呼ばれるようになりました。現在のものは戦後の建築です。(JRECO 通信 30号、堀部安兵衛決闘参照)



かつてこの地に神田上水の堰があり、古来より、風光明媚な江戸名所として知られていました。上水の改修工事には俳人松尾芭蕉も関与し、その旧居(芭蕉庵)は400m程上流に復元されています。大正8年、東京市はこの土地を江戸川公園として整備し、史跡(大洗堰)の保存に努めましたが、昭和11年になり江戸川(神田川)の改修により失われたので、翌年、堰の部分を利用して由来碑をたてました。(碑説明分より)

広重魚栄『名所江戸百景』 安政4年 関口周辺は「せき口上水端はせを庵椿やま」として紹介されています。「はせを庵」とは現在の関口芭蕉庵のこと。この辺りは椿の名所で「椿やま」と呼ばれていました。

### <五色不動>

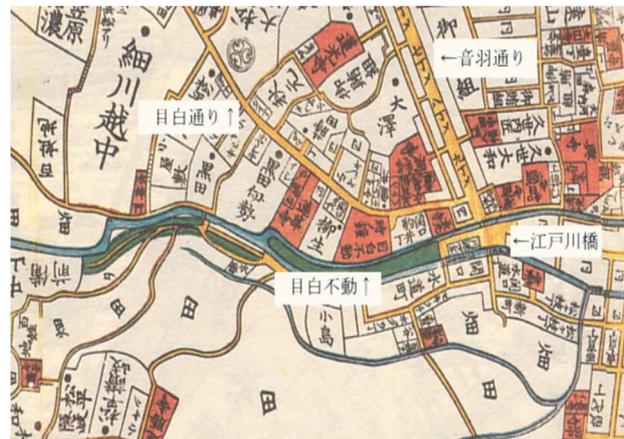
五色不動は江戸五色不動とも呼ばれており、三代将軍徳川家光が大僧正だった天海の建言により江戸府内の五カ所の不動尊を選び、天下太平を祈願したことに由来します。さらに、目黒不動、目白不動、目赤不動については江戸時代以前からの歴史をもち、江戸の名所として「三不動」されていました。そして、目黒と目白の地名はこれらの不動より由来します。せっかくなので、鬼子母神の帰りがけに現在の目白不動をお参りしてもよいですね。

- 目黒不動 瀧泉寺（東京都目黒区下目黒）
- 目白不動 金乗院（東京都豊島区高田） - 江戸時代は現在の文京区関口江戸川公園付近にあった新義真言宗新長谷寺の本尊
- 目赤不動 南谷寺（東京都文京区本駒込）
- 目青不動 教学院（東京都世田谷区太子堂） - 本来の寺名は平井の目黄と同じ最勝寺
- 目黄不動 永久寺（東京都台東区三ノ輪）

最勝寺（東京都江戸川区平井） 新長谷寺跡 文京区関口2丁目

現在の目白不動は豊島区高田に安置されています。昭和24年(1949)目白不動を江戸時代から安置していた寺が廃寺になり、先ほど通って来た目白通り高田一丁目の交差点を鬼子母神口の反対方向の坂を下る途中にある金乗院(現豊島区)に目白不動は移されました。江戸時代から、目白不動が安置されていた場所は、大洗堰のすぐそばの坂上、神田上水北側の崖上にあった真義真言宗の寺院境内の不動堂でした。この不動明王は目白不動と呼ばれ、江戸五色不動の筆頭とされていました。

目白不動縁起によると、同不動は空海が作ったもので、その後、下野(現栃木県足利市)に住む廻国行者が所持していたそうです。目白不動の名は三代将軍家光が目黒不動に対しその名を名乗るように命じたと伝えられています。また、五代将軍綱吉の母桂昌院が深く帰依、諸堂を修復したと伝えられます。境内は高台に位置する景勝の地で、江戸の庶衆が参詣し、境内には茶屋や水茶屋が建ち並んでいました。また、鐘撞堂の鐘は江戸の時の鐘の一つで、武家方・町方から志を集めていたそうです。



大洗堰（現；江戸川公園）より少し下流の崖上にあり、寺は江戸の景勝地でした。



<東京カテドラル聖マリア大聖堂・ルルドの洞窟>

東京カテドラル聖マリア大聖堂 (St. Mary's Cathedral, Tokyo) は、東京都文京区関口にカトリック関口教会として明治33年(1900)創立し、カトリック東京大司教区の司教座聖堂(カテドラル)です。当初の建物は原爆ドームの設計者レツルが手掛けました。

現在の大聖堂は建築家丹下健三の設計で、ドイツのケルン教区の支援によって建設され、昭和39年(1964)に建てられました。

教会の敷地内にルルドの洞窟があります。これは、1858年フランスの南西部の町・ルルドと言う小さな山村の洞窟において、聖母マリアが一人の少女の前に現れた事を記念し、世界各国のカトリック教会や施設にこれを模したものが多く作られる事になったそうです。

大聖堂の内部は信者でなくても入れますので、中を覗かれてみてはいかがでしょうか。



カテドラル聖マリア大聖堂



ルルドの洞窟

さて、カテドラル聖マリア大聖堂を後にして、目白通りを下ると地下鉄江戸川橋駅が見えます、さらに神田川沿いに目白通りを歩きます。この辺りは明治の時代には桜が咲く景勝地でした、今の神田川はずいぶんと殺風景になりました。しばらく歩くと、大曲の手前に特徴的な凸版印刷の本社ビルが目に入ってきます。このビルの地下に印刷博物館があります。



明治時代の神田川 (左) 現在 (右) 江戸川橋駅から大曲方向

### <印刷博物館>



東京都文京区水道1丁目3番3号 TOPPAN 小石川本社ビル

一般：400円（中学生以下および70歳以上の方無料）

実は、印刷博物館にはそれほど期待していませんでしたが、入館するとそれは想像を超えたものでした。印刷の歴史と展示を見ているだけで2時間はゆうに掛かります。是非とも、この散歩で立ち寄るだけでなく博物館を目指して行かれるのも良いのではないのでしょうか。JR 飯田橋から歩いて10分程度の場所にあります。ここは必見の博物館です。

展示は世界最古の印刷物としての「百万塔陀羅尼」で始まり、続いて次代ごとの印刷技術と時代背景が説明されている展示には圧巻です。

## 称徳天皇と「百万塔陀羅尼」

「百万塔陀羅尼(相輪)」



- 764～770(天平宝字8～神護景雲4)年
- 称徳天皇
- 凸版/木版または銅凸版

百万塔の中に納入された「陀羅尼経」。製作年代がわかり、かつ、現存するという点で世界最古の印刷物である。陀羅尼とは仏教経典の呪文を意味する。唐代に弥陀山らが漢訳した『無垢浄光大陀羅尼経』にある6種の陀羅尼のうち、相輪、根本、自心印、六度の4種が印刷された。法隆寺には3,000点以上が伝存する。

百万塔陀羅尼  
版の鑄造実験物

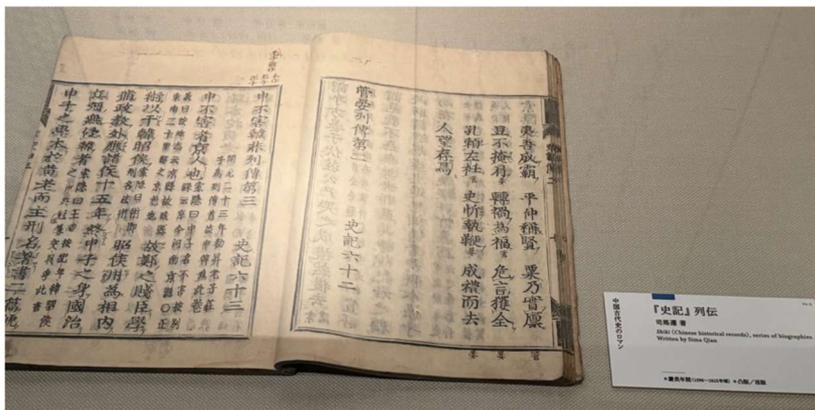
## 百万塔陀羅尼 版の鑄造実験物



百万塔陀羅尼の印刷方法には、木版と銅版(銅凸版)の2つの説がある。江戸時代から今日に至るまで論じられてきたが、未だに決着を見ない。銅版説には直刻銅版、打ち出し銅版、鑄造銅版の諸説があるが、当館では、銅版説の場合、印刷するための版が砂鑄型によって鑄造されたと推定して、銅版の鑄造実験を行った。

## 称徳天皇と「百万塔陀羅尼(ひやくまんとうだらに)」

称徳天皇は奈良の大仏を建立した父・聖武天皇同様、仏教に深く帰依した。764年に政治的に対立した藤原仲麻呂(恵美押勝)が乱を起こすと、称徳天皇は追討軍を派兵し、一気に鎮圧した。その後、戦没者の冥福、国家の守護、安泰を祈り、「百万塔陀羅尼」をつくらせた。



### 家康を中心とした印刷・出版合戦

Battle of Publishing primarily led by Tokugawa Iyayasu  
以家康为中心的出版大戦

開ヶ原の戦いが起こった1600年ごろ、活字印刷の担い手はじつに多彩だった。金属活字を実現させた徳川家康をはじめ、後藤成天皇（公家）や豊臣秀頼、直江兼続（武家）がこぞって印刷事業をおこし、覇権争いを繰り広げる。その家は、さながら印刷・出版合戦の様相を呈していた。

In about 1600 or so, when the Battles of Sekigahara took place, letterpress printing occupied a range of leading roles. Tokugawa Iyayasu which realized hot metal, the Emperor Goyasu (court noble), Toyotomi Hideyori and Naon Kazetungo (samurai family) launched a printing business at the same time and developed battles over hegemony. As it were, aspects of Battle of Printing and Publishing were presented.



**徳川家康**  
徳川幕府初代将軍。京都伏見において木活字をつくり、『自教公要』などの印刷・出版を行った。その後、幕府において、日本人の手による最初の銅活字をつくらせて、『群書治要』などの印刷・出版も行った。

**後藤成天皇**  
宝暦3年(1611年) 豊臣秀吉から継いだ銅活字を用いて『古文書経』を印刷・出版 (1611年) 木活字をつくらせて『御字文』などを印刷・出版 (1617-1618年)

**豊臣秀頼**  
豊臣秀吉の第二子で、宝永5年(1708年)に江戸幕府に軟禁された。豊臣天下の覇権を徳川家康と争い、大坂夏の陣で木活字を用いて神皇正統記の『尊皇御覧』を印刷・出版 (1608年)

**直江兼続**  
安土桃山時代-江戸時代初期の武将で上杉木活字によって『北風抄』の印刷・出版を行った。『文選』を複製し、幕府に文選をつくらせた。

**印刷・出版合戦関連年表**

年	出来事
1593	後藤成天皇「古文書経」(木活字版の刊行・銅活字版の刊行)
1597	後藤成天皇「御字文」(木活字版の刊行)
1599	豊臣秀頼「尊皇御覧」(木活字版の刊行)
1606-1607	徳川家康「自教公要」(木活字版の刊行)
1615-1616	徳川家康「群書治要」(銅活字版の刊行)
1617-1618	徳川家康「御字文」(木活字版の刊行)
1618-1619	徳川家康「北風抄」(木活字版の刊行)



### 印刷の日本史

印刷は古来日本の社会と文化にさまざまなかたちで影響をおよぼしてきました。政治、宗教、娯楽、教育、報道——日本の歴史をひもとけば、印刷の力が各所に作用していることが見られます。この展示では印刷が深く関わった出来事を中心に、わが国における印刷の形成・発展の歴史を当館所蔵の資料とともに読み解きます。

### 印刷の世界史

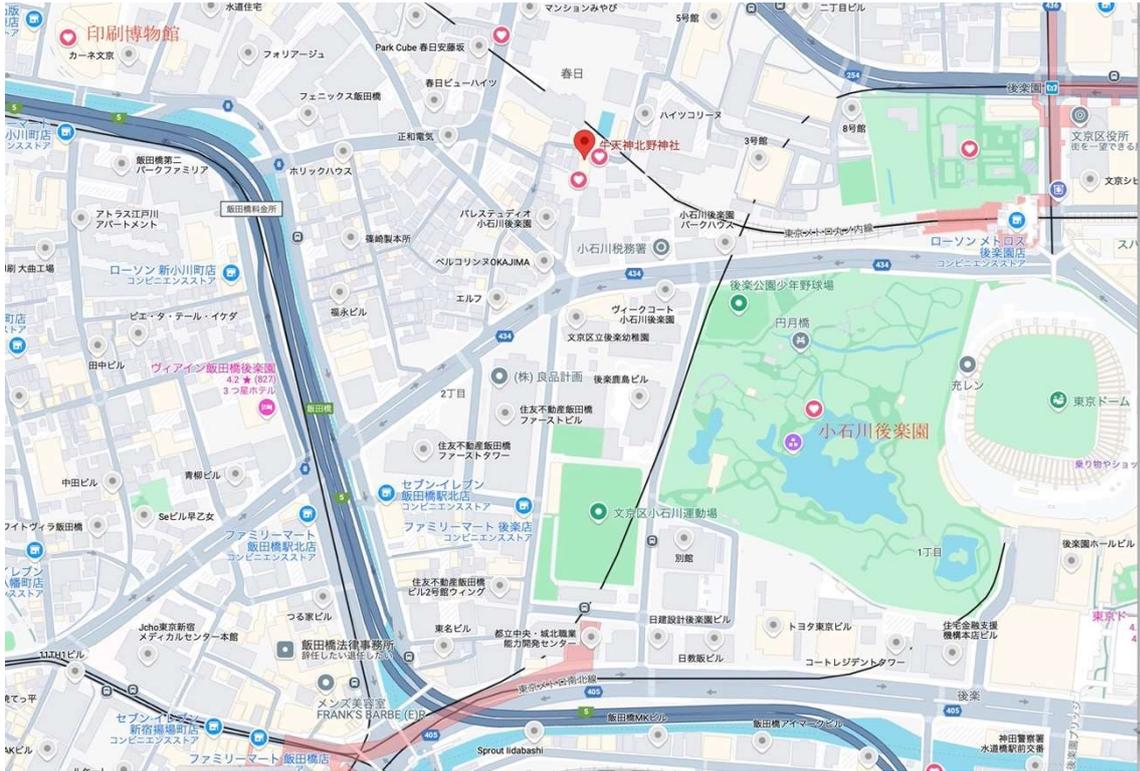
紙、インキ（墨）、版、圧（印刷機）——これらを駆使することで原理的にはいくらでも複製が可能とされる印刷は、ひとつたび発明されるや否や、瞬く間に世界各地に広まりました。この展示では洋の東西を問わず、最初期の印刷から現代の情報技術に至るまでの歩みを、社会の変化とともに年表でたどります。



日本初の肖像入りお札（神功皇后札）1円



皇太子殿下、皇太子妃殿下下行啓記念碑



### <牛天神北野神社>

印刷博物館の玄関には、皇太子殿下、皇太子妃殿下が御行啓の記念碑があります。さて、目白通りとは大曲で別れ小路に入ると5分ほどで牛天神北野神社が見えてきます。



神社は道から10mほど高台に鎮座しています。この神社の由来は源頼朝が東征の途中、石に腰掛けて休んでいたところ、夢の中に牛に乗った菅原道真公が現れ、「2つ喜びがある」と伝えたといひます。その後、お告げのとおり長男の頼家を授かり、平家を西に追うことができた頼朝は喜びこの北野神社を創建しました。以来、この頼朝が腰かけた石が御神体とされ人々の信仰を集めてきました。神社の御由来の冒頭には「寿永3年(1184)右大臣源頼朝御東国追討の時、此处の入江の松に船を繋ぎ和波を待つ、その間夢を・・・」右大臣だった源頼朝はこの入江の松に船を繋ぎ、波が収まるのを“石”に腰掛けて待っていた。現在高台の神社が当時は海の入江だったとあるので、神社の南下に隣接する小石川後樂園は海の中だったのでしょう。800年ほど前の東京の地形の様相はいまでは全く想像が付きません。



ご神体の頼朝の腰掛石



小石川後樂園

### <小石川後樂園>

せっかく来ましたので、小石川後樂園に入園してみませんか。東京にいる方でも、おそらくあまり訪れていないかと思います。東京には意外と知られていない場所が多くあります。現在は東京都の公園となっていますが、元々は水戸徳川家の上屋敷内にあった「後樂園」という大名庭園で、現存する最古の庭園だそうです。歴史は寛永6年（1629）に初代藩主徳川頼房（よりふさ）が築造して、2代藩主徳川光圀により完成させたとのこと。庭園の中には池があり、神田上水が引き込まれています。3大將軍徳川家光公も後樂園には幾度も訪れたそうで、いずれも神田川を舟で登って来たそうです。事前にネットなどで調べてから訪問されると良いと思います。

以下は豆知識です。水戸徳川家だけは参勤交代がなく藩主はいつも上屋敷に常住し、それを「江戸定府」といいます。逆に藩主が国元に戻るときには幕府の許可を得ての帰藩だったとのこと。



さて、小石川後樂園の東門より東京ドーム沿いに歩き、東京メトロ丸ノ内線のガードをくぐり60メートルほど進むと春日通りに出会います。そして、横断歩道を渡り春日通りを右に折れ、そのまま600メートルほど歩くと本郷三丁目の交差点に到着します。さあ、東京大学はもうすぐです。ここで、本郷三丁目を左折して200メートルも歩くと有名な赤門が見えてきます。

### <東京大学>

東京大学は加賀藩上屋敷跡と徳川水戸家中屋敷地に建てられたもので、東京で唯一大名屋敷の跡がしのばれる場所です。江戸時代には約330諸侯がそれぞれ上屋敷、中屋敷、下屋敷を江戸に構えていましたので、合計1,000ほどの大名屋敷が建ち並んでいたそうです。



赤門



キャンパス内

赤門は文政10年(1827)に第11代将軍家斉の第21女浴姫が加賀藩第13代藩主前田斉泰に輿入れました。その際、姫を向かい入れるためにこの赤門が建てられました。キャンパスは広く、校舎建物は歴史の長さを感じます。三四郎池の周りには育徳園といわれる大名庭園でした、三四郎池とは形が「心」をかたどっていたため、心字池と言われていましたが、夏目漱石の『三四郎』により今の呼び方になったそうです。そして、農学部は水戸家中屋敷でした。徳川光圀に招かれた清より帰化した朱舜水(しゅしゅんすい)は中屋敷に住み、ここが終焉の地となりました。農学部には朱舜水終焉の地の碑があります。朱舜水は水戸学思想に影響を与え、後樂園の名称や設計にも彼の意見が取り入れられたとされています。





上野英三郎博士とハチ公像（農学部）



安田講堂

農学部にはさらに、上野博士とハチ公の像があります。渋谷のハチ公は長い間に多くの人に撫でられたためか輪郭が丸くなっていますが、こちらのハチ公はしっかりしています。

前田家と東京大学の関係についての豆知識です。明治17年（1884）華族令により前田家は侯爵の爵位を授与されました。この本郷の地は隣接して建てられた東京帝国大学の敷地拡張により、駒場にある東京帝国大学農学部実習地4万坪と交換させられることになり、前田家は目黒の駒場に移転しました。前田侯爵邸は、現在東京都立駒場公園となり、東大駒場キャンパスに隣接しています。公園内には旧前田家本邸の洋館と和館があり無料で公開されていますので、機会のある時にお訪ねされてはいかがでしょうか。訪問されるには、井の頭線駒場東大前下車です。



都立駒場公園内の前田邸の案内



球前田邸洋館

ゴールの湯島天神は近くになりました、もう少しお付き合いください。さて、農学部を出て左側の弥生町交番を左に曲がりましょう。弥生町というくらいですので、何か思い出されませんか。ここは弥生町です、そうです、かつてこの辺りで弥生式土器が発掘されました。交番を過ぎて200メートルほどの場所に弥生式土器発掘ゆかりの地の碑があります。「ここなのだ！」と感慨深いではありませんか。



弥生式土器発掘の碑



天神下交差点

もう少し頑張りましょう。発掘の碑を後にそのまま坂を下り、根津一丁目で「不忍通り」を右折します。そうです、歩き始めた目白を起点とした「不忍通り」とここでまた出会ったのです。しばらく「不忍通り」を進むと左手に不忍池が見えてきます。もうすぐです、天神下の交差点が見えてきます。湯島天神はこの交差点のすぐそば、いよいよ最終目的地に到着しました。

### <湯島天神>

御由来：雄略天皇2年（485）、勅命により天之手力雄命（あめのたちからをのみこと）をご祭神として創建され、南北朝時代の正平10年（1355）2月に菅原道真を勧請したそうです。湯島天神の御祭神は2柱です。江戸時代には幕府の崇敬・庇護を受け、江戸・東京における天神信仰の中心でした。

古事記に、天之手力雄命は天宇受売命（あめのうずめのみこと）とともに天照大御神を天の石屋戸から出て貰うために尽力した神様です。



湯島天神拝殿



菅原道真といえば牛

それでは、天神様にお参りいたしましょう。お疲れさまでした。

各地にある菅原道真を祀る神社を、例えば湯島天神あるいは湯島天満宮と呼びますが、その理由はご存じでしょうか。

それは、菅原道真が天満大自在天神という神になったからと下記にあります。

「神社」で読み解く日本史の謎 河合敦著から

北野天満宮に所蔵されている国宝の『北野天神縁起絵巻』によれば、左遷された道真は、太宰府にある天拝山（てんぱい）に登って、自分が無罪であることを七日七夜、天へ訴えたところ、その訴えは梵天宮に至り、道真は生きたまま天満大自在天神（てんまんだいじざいてんじん）という恐ろしき神となったと伝えられる。

### Ⅲ. 作井正人の米国駐在記

すこし昔の話にはなりますが、私が2003年～2006年の3年間、カリフォルニア州のIrvine市で過ごして感じたことを連載します。アメリカ文化とアメリカ人気質を理解して頂けるきっかけになって頂ければと思います。

<ガソリン価格高騰>



セルフの給油ポンプには、Premium, Plus, Regular を選ぶボタンがある。これはオクタン価の違いで、それぞれ91, 89, 87、オクタン価がたかいかほど車の馬力は上がる。日本でいう、レギュラーとハイオクの差である。価格はほぼそれぞれ10セント毎高くなる。一番のPremiumでも日本のガソリンと比べてオクタン価は低い。アメリカの3000cc以上もあるエンジンを持つ車にとっては多少オクタン価が低くても馬力的にはあまり問題は無いのだろう。ヨーロッパでは確か、Regularでもオクタン価が95位あったような気がする。

給油するときには、クレジットカードを入れ3種類からガソリンを選択、ノズルを取り上げて給油をする。アメリカの給油ポンプはノズルは長いので車のタンクに挿入してその場から離れても外れない。よって、多くの方は給油中にノズルから離れて、無料で提供されているパーパーや掃除機でフロント、リアウインドウを満タンになるまで清掃している。満タン時にはカチン音がしてポンプが止まる。これが私にはアメリカ的で格好良く見えた。初めてのころは不安でノズルを支えてはいたが、慣れてくると給油中の隣人に「Hi! how are you?」と言いながらウインドウを清掃できるようになっていた。

ガソリン価格の高騰は当時アメリカではかなりホットな話題だった。車がなくては何も出来ないこの国にとって、この価格上昇は家計にかなり厳しい。テレビでは、亭主の通勤費を捻出するために母親の形見の宝石を質に入れて充当した事を伝えていた。会社でも、Car Pool と称して近所の同僚と通勤の車を交互にシェアしたり、電車通勤に変更したりと苦勞していた。ガソリン価格高騰は、アメリカのマッチョな車の販売を低下させ、GMなどの経営が苦境になった。そして、燃費の良い、トヨタ、ホンダなどの日本メーカーがさらにシェアを伸ばしていた。トヨタのハイブリッド車プリウスなどは購入に半年待ちの状態だった。

カルフォルニアでの日本車のシェアは驚くほど高い。見かける車の50%以上の車は日本車だ、いやもっと多いだろう。とくに、Irvine 地区では特にその日本車の比率は大きく80%以上90%以上にも感じる。今や、日本車が人気があるのは安いからではなく、高級車に位置づけされていた。特に、レクサス、インフィニティー、アキュウラは、それぞれトヨタ、日産、ホンダの高級ブランドで車輛価格は高額だった。レクサスに乗っている Margie は、自分の車はトヨタでなくレクサスだと自慢していた。ちなみに、私の車はアキュラでなくホンダブランドだったけど。

信号が赤になり交差点で止まって、左右前後の車をチェックすると、トヨタ、トヨタ、レクサス、レクサス、ホンダ、ホンダ、ニッサン、マツダ、周りほとんどが日本車、これは誇張でもなく本当の事。たまたま、駐車場に停まっている車をを数えると、23 台中に日本車は20 台。この事実、日本人として、誇りには感じる、嬉しいことだ。

3 年前に赴任したときには、確かガロン1.7 ドル程度だったガソリン価格が今ほぼその倍になっている。その後、半年程は安定していたのだが、2004 年の1 週間に渡る大停電で高騰して2 ドル前後となった。

それから、価格は2 ドル20 セント位が続き、2005 年のハリケーンカタリーナの影響でメキシコ湾岸の精油所がダメージを受け、2 ドル50 セントとなった。

2006 年に入って、世界的な原油価格の高騰を受け、ついには3 ドルに近づいた。さすがに、3 ドルの桁上がりまでは世論に抵抗が有るのか、ガソリン会社も3 ドル以下の価格を維持していた。しかし、この春、一度3 ドル線を越えてしまうと、歯止めなく価格は上昇していった。

私はほぼ、一週間に一度給油しているが、以前は一回の満タンで22 ドル程度だった、それが今では、50 ドル近くになってしまった。これは、1 ヶ月に通勤も含めて100 ドル程度の負担増となった。遠くに家があるアメリカ人でなくても大変だった。

家庭では成人数だけ車が必要になるので、通勤以外の家族の車を考えると厳しい。ガソリンが安かった良き時代では、Office までの距離が30 マイル~40 マイルあるいはそれ以上に離れた所でも住居を構えることができた。そんな生活設計をしていた彼らには、大打撃となってるだろう。たぶん、車一台あたり、一月に200 ドル以上の負担増となっているはず。いつまで、この価格上昇は続くのだろうかと当時は皆不安だった。会社の事務所でもガソリン価格の話題で持ちきりだった。



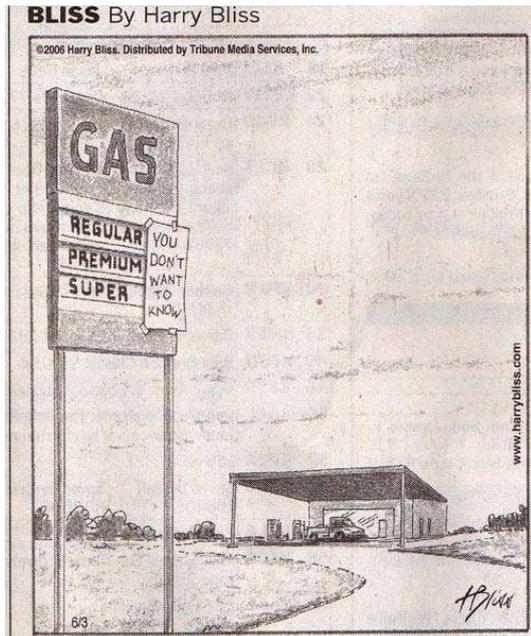
2006年4月22日



2006年5月1日 (一週間で12セント)



2006年5月20日 (一月で20セント)



## Los Angeles times June 3 の新聞記事の風刺漫画

**You don't want to know.**

ガソリン価格が毎日のように上がるので、価格を「知りたくないでしょ！」

2023 年の米国の物価は当時の数倍に高騰しているということで、ガソリンはどうかと調べてみた。

### 大幅下落する米国のガソリン価格、今後も下落が続くとの予測

<https://forbesjapan.com/articles/detail/64070>

AAA（日本の JAF 相当）によれば、原油価格の急激な変動は、ガソリン価格の変動と一致する傾向があり、ドライバーがガソリンスタンドで払う価格のおよそ 56%を原油価格が占めているという。ガソリン価格が冷めてきているにもかかわらず、米国の 9 つの州では、まだガソリン価格が 1 ガロンあたり平均 4 ドル超にとどまっている。価格が最も高いのはカリフォルニア州だ。税金の高さと、クリーンだが高価な夏用混合燃料のあわせ技により、同州は常にガソリン価格が最も高い。

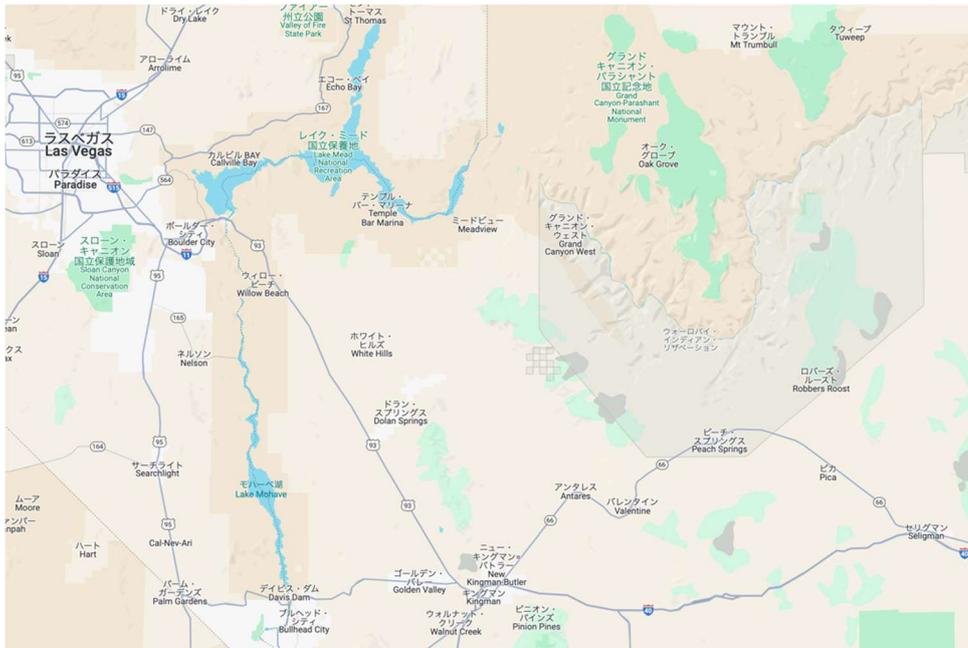
AAAによれば、カリフォルニア州の 1 ガロンあたりの平均価格は 4.89 ドル（約 693 円）で、次いでワシントン州（4.84 ドル、約 686 円）、ハワイ州（4.74 ドル、約 672 円）、オレゴン州（4.48 ドル、約 635 円）となっている。

2023 年現在のアメリカの物価高騰は大変なものだ、しかし、ガソリンは他の物価に比べると 1.5 ドル程しか高くなっていない。アメリカでは賃金が物価の上昇に追いついていないが、それでも賃金は上がっている。したがって、あの当時、騒いだほどガソリン価格の高騰とは感じないのだろう。やはり、庶民にとってガソリンの価格は生活に大きく影響するので、大幅な値上げはできない事情もあるのかもしれない。

### <グランドキャニオン・ルート 66>



夏休み、日本の家族と香菜子の友人が遊びに来ていたので、ラスベガスとグランドキャニオン国立公園2泊の旅に連れて行った。8月22日、ラスベガスに1泊して、午前11時頃出発した。有名なフーバーダムを横を通り越し、砂漠からサバンナのような土地を150km程、国道93号をドライブKingmanに着く。ここからは、「ルート66」が、「Historic Route 66」としてSeligmanのまで100km程残されてある。グランドキャニオン国立公園には夕方到着した。グランドキャニオンを見た一同の最初の印象は「驚き！」の一言だった。ただし、そのどこまでも連続する景色に子供達は直ぐに飽きてしまった。アメリカの景色はまるでアメリカのステーキ、最初の一口は美味しいが食べても食べても減らない。いかに雄大で感動する景色でも、どこまでも続くと飽きる。



グランドキャニオンはコロラド川が平らな大地を4000万年もかけて浸食して溪谷を作り上げた。深い谷となっているので、反対側に渡るには、200~300km大回りをしないと車では行けない。

国立公園の入園料は車一台\$20で1週間有効、年間パス(全ての国立公園共通)は\$40だったと思う。他の国立公園も含めて2回行けば元が取れる料金。

砂漠→サバンナ→草原→森林地帯と車窓から見える風景は、300年ほど前にここがインディアンの土地だったことを想像すると、西部劇で見たインディアンのテントがそこにあるような気がする。



ルート66は「歴史街道」として一部のこされている、50年代のアメリカを思い出させるような展示やGift shopに観光客が集まっていた

宿泊はグランドキャニオン国立公園から 100Km 程離れたアリゾナ州の Flagstaff という街。ホテルに到着したのは夜の 8 時半頃、アリゾナ大学の隣りのホテルだったが、周りは真っ暗で何もない。朝食代を含めて、一部屋 \$80 でとても安くてきれいだった。受付はアルバイトの女子大生風だった、田舎の学生で感じがいい。ふと見ると、日本語の本を読んでいた。聞くと、アリゾナ大学で日本語を勉強しているそうだ、こんな田舎の町の人が日本語とは驚いた。彼女に食事をする場所を尋ねたら、日本レストランも有るとのこと。一同、昼食抜きだった事もあり完全に空腹状態、直ぐに教わった日本レストランへ向かった。

店に着いて、驚いた。外見は全くの日本の居酒屋、提灯が灯り外まで民謡が聞こえてきた。これは久しぶりで美味しい日本食が食べられると思い店に入ると、金髪の兄ちゃんが寿司を握って日本人のスタッフは誰いなかった。客もローカルだらけ。席を案内され鉄板焼きのコースを選んだ。金髪の兄ちゃんは「本物の日本人」が 6 人も来たのか始終緊張モード、鉄板にソースを掛けるときに手が震えていた。こういうアメリカの小都市の人たちは世間ずれしてなく優しい。空腹だったこともあり我々全員、味には満足だった。今思うと、店の写真を撮っていなかったことが残念だ。

翌朝のホテルの朝食は宿泊に含まれていたのでもあまり期待はしていなかったが、とても美味しかった。AAA (JAF 提携) での予約は大正解だった。

Seligman で 40 号を出て、「Historic route 66」を散策。昔のルート 66 を思い出させるような土産店などが 500m 位に集中している場所があり、写真を撮ったり、買い物客でぎわっていた。ルート 66 はテレビドラマの舞台となって有名、かつてロサンゼルスからシカゴまで通じていた幹線道路だった。今では、フリーウェイ 15 号、40 号に取って代わられている。Gift shop で買い物をしてたら、スタッフの女性から日本語で「こんにちは」と言われた、彼女も日本語を勉強しているそうで、お釣りの金額も日本語で話してくれた。アリゾナ州では日本語が人気なのか。

帰路はフリーウェイ 40 号にて森林地帯→草原→サバンナ→砂漠にて Irvine には夜 7 時頃に到着した。



### <差別>

英語では差別のことを **discrimination** と表す。カルフォルニアではあまり差別を受けたことはないが、ゼロではなかった。何となく、こいつは私のことを差別しているなど思うことはたまにあった。もちろん、会社は日系なので差別を受けたことなどなかった。

しかし、東部の **Boston** などでは、日本からの出張者を数名連れて日本人だけの場合はそう感じたことはあった。特に年配からは、嫌悪の視線が向けられることがあった。しかし総じて、日本人にはあまり差別は無かったと思う。

アメリカでは差別をすることは大きな問題として捉えられている。テレビを見ていると、カルフォルニア州から「あなたが差別を受けた場合は 1-800-XXXX へ電話するように」とのテレビスポットが頻繁にあった。

### <New York 旅行>



私は仕事で全米各地に行っていたが、家族は車で行けるサンフランシスコ、ラスベガス、サンディエゴだけだった。せっかくアメリカにいるのでニューヨークへとクリスマス休暇に家族で出かけた。旅行の一月ほど前に、日系旅行会社の洋子さんにニューヨーク 3 泊旅行の手配を依頼していた。洋子さんは 22 日のロサンゼルス夜 11 時発の夜行便とグランドセントラル駅にあるハイアット・グランドセントラルを手配してくれた、それも格安で。私は、日本出張の場合はいつも彼女に手配してもらっていた、日本⇄ロサンゼルス往復が JAL のアメリカ発の航空券だと何と 800 ドルとかなり割安にしてくれていた。やはり、日本人に頼むと間違なく、丁寧で助かる。

ニューヨークには 23 日の朝 7 時に着いた、飛行機に乗っている時間は 5 時間以上もあり何度も仕事で東部に来たがこの 5 時間と時差の 3 時間はこたえる。ニューヨーク市のバス・地下鉄が 20 日からストに入っていたと聞いていたが、運良く 23 日にはストが解除されていた。クリスマスシーズンに向けての交通機関のストは、この時期に観光客が大勢来るニューヨーク市にとっては財政的な傷手だったのだろう。それゆえ、スト解除のニュースは特に大きく取り上げられていた。



「IT'S OVER!」スト解除の新聞



有名なグランドセントラル駅

まず、グランドセントラル駅にあるホテルに荷物を預け、五番街・タイムズスクエアへと散策に出かけることにした。この駅は映画の舞台にもよく使われている、ここから全米に向けての列車が発発するターミナル駅であり、マンハッタン島の中では電車が地下を走っているの地上には線路は見えない。



グランドセントラル駅周辺



人気のブロードウェイの当日券売り場

ホテルから15分位歩くとタイムズスクエアの中心に到着した。90年代にこの場所に何度も来ていたが、すっかりと様変わりしたことに驚いた。当時はタイムズスクエアの周辺は新宿歌舞伎町を彷彿するいかかわしい店が多かったが、それらは一掃されて健全なキレイな街に変わっていた。これは、ニューヨークを安全に清潔にした、ジュリアーニ市長の功績だろう。

### ブロードウェイ観劇

2時から始まるブロードウェイ観劇のために、人気の当日券売り場（割引）で「美女と野獣」のチケットを並ぶこともなく購入できた。それも半額の60ドルだった。何でも通常は長蛇の列で1~2時間待ちは当たり前だと、ガイドブックには書いてあった。確かに、翌24日にこの前を通り掛かったら、長蛇の列だったので、我々は運が良かった。



劇場はそれほど大きくはなく、せいぜい200人程度が入れるほど。しかし、舞台装置が素晴らしい。観客が舞台の中にいるような錯覚を起こすよう、大道具が客席全体を包み込むように配置されている。嬉しいことに、席

後方にはBarがあった。始まるまでの待つ間、赤ワインで一杯やっていた。さすがに有名なブロードウェイのミュージカル、俳優たちの歌唱力は素晴らしい。さらに、英語の発音がとてもきれいなので、我々外国人でも聞きやすい。やはり、ニューヨークに来たらブロードウェイのミュージカルは一見の価値がある。公演は途中の休憩を入れて、3時間以上はあっただろう。

休憩中にBarが再オープン、赤ワインをもう一杯注文して座席に戻った。ちなみに、真剣に見ていた家族とは裏腹に、私は夜行便の疲れとワインの酔いで、何度か意識を無くしていたようだ。亜弥が家内に「お父さん、眠っている！」と囁いたのが聞こえて目が覚めた、バレーしていた。



有名なニューヨーク市警察 (NYPD) の警官、半袖にスリムなカルフォルニアの警官の方が格好いいと亜弥。交通整理用のパトカー

### アメリカ自然史博物館とメトロポリタン美術館

24日のクリスマスイブ、恐竜大好きな亜弥の希望だったアメリカ自然史博物館へ行くことにした。この日は、翌25日がどこも休みになるので、自然史博物館とメトロポリタン美術館に絞ってまわることにした。朝、ホテルから徒歩で行こうとの私の提案は、家族から却下されタクシーとなった。車を降りるときに運転手から「Enjoy dinosaurs!」と笑顔で言われ、家族から「よくまあ、こんな遠い距離を歩かそうとしたわね!」とヒンシユクだった。



博物館に入ると、ロービーで2体の恐竜が我々を迎えてくれるのには圧巻される。まずは4Fにあるプラネタリウムと映画がドッキングしたようなアトラクション、「宇宙の始まり」、「宇宙の大きさ」の2つを観賞。ナレーターは俳優のトム・ハンクスとハリソン・フォードだった。

鑑賞後に亜弥のお目当ての恐竜化石の陳列コーナー、ここはコーナーと言うよりその階すべてにこれでもかと言うほど多数の恐竜の化石、化石、化石、数の多さに只、只・・・。

博物館の Giftshop で亜弥が恐竜の本を買い、次のメトロポリタン美術館へセントラルパークを横断して向かうことにした。あまりに多くの恐竜の展示を見て、やや疲れ気味だった。



メトロポリタン美術館は自然史博物館の反対側で距離は1km程度、反対側にはペントハウス付の超高級住宅が並ぶ

自然史博物館を出て、反対側のメトロポリタン美術館に向かう道すがら、二人から遠いとクレーム。今朝の歩いて行こうとの提案ですっかり信用がなかった。自然史博物館で歩き回り、疲れたのだろう。「お父さんのスグそばは、いつもスグじゃない！」と言われた。

私は、メトロポリタン美術館には何度も来たことがあり好きな場所だった。コレクションの多さはもの凄い、行く度に内容が変わっている。全部見るのには一日では無理だろう。また、エジプト関係のコレクションが膨大にあるので、初めて来たときにエジプト・コレクション側から入ってしまい。そこだけで1時間以上もかかった。日本コレクションも豊富で、国内にあれば国宝級のものもたくさんある。おそらく、幕末と明治維新の当時に流出したものだろう。難点は展示が多すぎると、広すぎて疲労困憊となることだ。

今回は、家族の疲れが頂点に達しそうだったので、印象派の一部と日本コレクションだけを見ることにした。この Giftshop は数ある美術館のなかでも Goods の種類の豊富さで shop の規模では最高だと思う。ほぼ全ての所蔵絵画の A0 サイズにしたポスターやレターセットを販売している。以前に来たときは浮世絵のポスターを購入した。

### クリスマス・イブ



ロックフェラーセンターのクリスマスツリーは、今年ほどこの州から選ばれたかと、11月頃からテレビで話題となる。そして、ツリーの点灯は12月初めに頃に始まり、これも一大イベントとして全米の関心の的だった。



カルフォルニアでは考えられない人、ひと、人が街に溢れている。

### グランド・ゼロ（世界貿易センター跡）

25日はクリスマス、殆どの施設（観光）は休みとなっている。しかし、レストランなど営業している店もあった。この日は、朝から雨だった。地下鉄でグランド・ゼロへ行くことにした。



地下鉄のホームへ降りる階段



地下鉄車内は以前のような落書きはなくなっていた

ニューヨークの地下鉄は以前に比べてキレイになったとはいえ、日本とは大違い。路線によっては汚い駅、車輛もある。我々のいた席に、浮浪者が大声を上げて近づいてきた。隣に座っていた十代の女の子が彼に小銭をあげたので立ち去ってくれた。駅は尿臭く、とうとう亜弥が泣き出してしまった。急遽、地下鉄を降りタクシーに乗り換えた。地下鉄で行くことを提案した私は、また非難の的となってしまった。



金融・証券の中心地 ウォール街



グランド・ゼロ (世界貿易センター跡地)



グランド・ゼロを囲りには、ビルが破壊された時間経過、犠牲者たちが「The Heroes of September 11.2001」英雄として、名前が刻まれている。

この3日間、朝はスターバックスコーヒー。昼食は一度だけアメリカレストランに行った。しかし、夕食はすべて日本レストランだった。23日の初日は、すし屋「寿司田」、店内は日本そのものだった。翌、24日は居酒屋「伊勢」。店内は常連のニューヨーク在の日本人が多く、そこはまるで東京の居酒屋だった。そして最終日の25日、クリスマスで殆どの日本食レストランも休みだったが、焼鳥屋の「鳥人」は営業中。電話をかけると、予約席はすでに一杯なので店の前でキャンセル待ちをするように言われた。店の前で待っていると、運良く、我々が順番待ちの一番だった。次々と予約を取っていない待ち客が列を作る。キャンセルがあり、開店と同時にカウンター席に座れた。焼き鳥は美味かった。店内は完全に日本そのもの、カルフォルニアの日本食レストランとは全く違う。隣の酔客とのアメリカ談義は面白かった。そして、話題は「街呑み」となった。なんでも、ニューヨークでは公共交通機関（地下鉄など）で通う人が多く、日本と同じように街で酒が飲める。飲み屋で出会った日本人と仲良くなれるので楽しいと言っていた。これは、カルフォニアでは無理だ。

ニューヨーク在の日本人と楽しく語り、美味しい焼き鳥を食べ満足して店をでた。この日の雨は夕方から激しくなり、とても歩いて帰ることなくタクシーでホテルへと向かった。

やはりこの3日間は日本食で良かった。



ジュリアーニ市長が健全にしたニューヨークは、2020年からの移民政策のおかげで、街中に移民者が溢れ治安が極端に悪くなっているようだ。地下鉄の警備に州兵が動員され、タイムズスクエアではイスラム教徒が大挙して礼拝をしている。あの頃の良きニューヨークはもうない。

安全で清潔な今の日本と東京、ニューヨークの二の舞にならない事を切に願う。

To be continue 次号へ続く

お楽しみいただけましたでしょうか？

JRECO 通信は不定期刊行ではありますが、次回もご期待願います。

JRECO 通信のバックナンバーはホームページに掲載中

[https://www.jreco.or.jp/jreco\\_news.html](https://www.jreco.or.jp/jreco_news.html)

追悼

JRECO の初代理事長を務められた、東海サーモエンジニアリング株式会社 会長 鳥波 益男 様が5月3日に鬼籍に入られました。

鳥波さんは常に高い専門性と深い洞察力をもって、私たち JRECO を導いてくださり、JRECO に大きな影響を与えていただきました。私ども JRECO は鳥波さんのご功績を称え、深い感謝の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。